

戸沢ひろゆきへの一通のメールから… きれいなまちをつくろう

ブロークンウインドウ理論

7日ほど前に戸沢ひろゆき議員のホームページへメールが届きました。野辺の小沢酒店から陸橋に出ようとする角のガードレールにいたずら書きがされている。このまま放置せずブロークンウインドウ論のように行政は対応するように…という主旨のメールでした。(匿名で環境課長に手紙を送っています) さっそく戸沢ひろゆき議員は都市整備部建設課道路管理係に申し入れました。担当は圏央道の橋脚などにも書かれており困っているとしながらも、ともかく善処すると答え、4月27日午前、いたずら書きを消去しました。陸橋どうりの北側にもあり、都道なので東京都に申し入れすると述べています。



いたずら書きがされていた野辺小沢酒店前のガードレール



27日午前中にいたずら書きを消しました



近々にごみが撤去されるステーション

集合住宅の
ごみステーション



管理会社に山積されたごみを撤去してもらいました

すみよいあきる野市をつくりましょう

あきる野民報

号外 2005年5月10日
日本共産党あきる野市委員会
発行責任者・松平重幸 Tel (558)0718

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

jcp-akiruno.com/
51800人が訪問してくれています

ブロークンウインドウ

(割れた窓理論)とは、犯罪学における人間心理をもとにした理論です。

車のナンバーを外し、ボンネットを開けて放置しても、1週間でも起きなかった。しかし、フロントガラスを割ったところ、10分後に2名の親子がバッテリーを持ち去って、続いてタイヤが持ち去られ、さらに落書きがされて、そして1週間後に完全に破壊された、というフィリップ・ジンバルド教授の実験があるそうです。「窓を割った」この実験から「ブロークンウインドウ理論」と命名されたとの事です。

落書きが多い地域では、軽犯罪が起きやすい、軽犯罪が多いと凶悪犯罪が増える、というように小さな問題を放置する事による連鎖的な問題の拡大を説明するのに、このブロークンウインドウ理論が適用されます。誰にも管理されていないと感じた場合には、そのものを略奪や破壊しても罪悪感が薄いからだと言われます。

この手法に着目したニューヨークのジュリアーニ市長がこの理論に基づく対策をニューヨーク市に導入して、落書を消し、歩行者の信号無視や空き缶の投げ捨てなどを取り締まったら凶悪犯罪が激減した。

日本でも札幌警察が取り入れて、すすき野で違法駐車を徹底的に取り締まることから始めた。1日700台あったものが1年後に200台まで減少。ぼったくり店も1/3に減少した。犯罪率が12%減少した、ということです。

戸沢ひろゆき議員の携帯電話

090-9799-8533